

2021年 5月14日 (金)

みらい 未来への扉 とびら



高等特別支援学校 支援部 第143号

今月は、療育手帳に関することと県内にある知的障害・発達障害に関する相談、支援機関について紹介させていただきます。

1 療育手帳

療育手帳は、就労をはじめ様々な福祉サービスを受けやすくするために、知的障害のある方に（神戸市を除く：兵庫県では発達障害のある方にも）発行されています。療育手帳には、次回判定年月が記載されていますが、県や市町村から更新のお知らせは基本的にありません。判定年月が近づきましたら、それぞれ地域の福祉事務所か各市町の役場の方にご相談の上、更新判定の申し込みをしてください。

特に3年生の場合、更新判定の場所は、満17歳までは地域のこども家庭センターで、満18歳を過ぎると下の相談所で判定を受けることになります（誕生日が近い場合は、どちらになるかわかりません）。

○神戸市以外の方

・県立知的障害者更生相談所（最寄り駅：阪急「王子公園」）

神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL (078) 242-0737



○神戸市の方（H29. 3. 19に移転しました）

・神戸市障害者更生相談所（最寄り駅：「高速神戸」）

神戸市中央区橋通3-4-1 総合福祉センター3階

TEL (078) 361-2340

（各区の保健福祉部を通して受け付け）

療育手帳は、知的障害の方のための手帳ですが、法律で定められた制度ではなく、都道府県独自の発行であるために名称も等級も様々です。

また、知的障害を伴わない発達障害の方については、兵庫県（神戸市を除く）では療育手帳が発行されていますが、他の自治体では、「精神障害者保健福祉手帳」の対象となる場合がほとんどのようです。いずれにしても、現在は発達障害に特化した手帳は発行されていません。自治体によって制度や対応が異なりますので、転出等の際にはご注意ください。

2 学校以外の相談・支援機関など

＜知的障害・発達障害に関する相談・支援機関＞

各市町の役所・役場の「障害福祉課」が窓口になっているようです。

支援機関・支援センターは各市町によって異なりますが、多くの場合、知的障害・発達障害に限定しない幅広い相談・支援事業の一環として、活動が行われています。

＜発達障害専門の相談・支援機関＞

ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」があります。クローバーは現在県内に6カ所(高砂、芦屋、加西、豊岡、宝塚、上郡)設置されています。HP(ホームページ)があります。相談は、まず市町発達障害相談窓口を経て、クローバーへ依頼することになります。

神戸市では、神戸市発達障害者支援センターを中心に相談を行っています。18歳までの思春期を対象とした思春期発達相談室「あっとらんど」があり、本人・保護者ともに相談できます。

発達障害専門ではありますが、生活の様子を見て、診断名の有無は問わず相談できます。

＜親の会＞

兵庫県、神戸市それぞれの「手をつなぐ育成会」、「兵庫県LD親の会『たつの子』(LD・ADHD・アスペルガー症候群・高機能自閉症・広汎性発達障害・軽度知的障害など)」、「NPO法人『ピュアコスモ』(兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会)」があります。それぞれHPがあり、講演会などの情報が載っています。

＜障害に関する情報＞

国立障害者リハビリテーションセンター(所沢)や国立特別支援教育総合研究所:NISE(久里浜)にてHPで国の最新情報を提供しています。

